



平成 28 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 エ ス ポ ア
代 表 者 名 代表取締役社長 田上 滋
(コード番号 3260 名証セントレックス)
問 合 せ 先 管理部長 寺田 幸生
電 話 番 号 052-622-2220

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消についてのお知らせ

当社は平成28年6月24日開催の取締役会において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を行わないことを決議いたしました。これにより本日提出予定の平成29年2月期 第1四半期決算短信において、当該注記の記載を行わないこととなりますので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社は、前事業年度より、開発・販売事業の売上高は低水準となっていることに加えて、賃貸・管理事業においては新規に出店となったテナントはあったものの、大型テナントの退去が続いたことにより一部物件の稼働率は低下しております。

これらの開発・販売事業の不振、賃貸・管理事業におけるテナント退去に伴う預り保証金の返還による資金需要の増大により、当社の資金繰りは余力があるわけではありませんでした。

このような状況により、当社は継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していると認識しております。

当社は当社所有の固定資産の一部（所在地：秋田県秋田市）について平成 28 年 6 月 23 日に譲渡先と合意が成立し、同日付で売買契約の締結及び物件の引渡しを行い、譲渡代金についても全額受領することより当社の資金繰りは一層の安定化が図れました。

また、平成 28 年 6 月 17 日及び 23 日に開発・販売事業の物件計 5 区画の売買契約を新たに締結しております。

加えて、テナントリーシングの結果、複数の新規大型テナントより出店申込書等を新たに受領しており、今後の賃貸管理物件の稼働率は上昇していくことが見込まれております。

当社は上記の通り、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しているものと認識しておりますが、これらの対応策の実行により当第 1 四半期会計期間末において存在していた継続企業の前提に関する重要な不確実性は現時点では認められなくなったと判断し、継続企業の前提に関する注記は行わないこととしました。

株主様をはじめとする関係者の皆さまには大変ご心配をお掛けしましたが、当社は更なる業績向上と企業価値の拡大に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上